

大分類.C 購買管理

中分類	小分類	チェックの方法	レベ	診断結果	判定			備考
					H25	H26	H27	
1 資材計画は適切か	① 資材所要量を把握したか	ヒアリング	1	購買管理の意識が希薄であるため、資材の欠品が頻発するなどして生産計画が滞ることがある。				
		ヒアリング	2	資材の購買にあたって、生産計画から資材所要量の確認はおこなっていないため、時々欠品がある。..				
		ヒアリング	3	購入額が大きいなど一部の重要な資材に限って、生産計画から必要な資材所要量を計算し、購買している。				
		ヒアリング	4	ほとんどの資材について、生産計画から必要な資材所要量を把握し、購買している。				
		生産管理システムの機能を確認する	5	「MRPJ又は「かんぱん」等の生産管理システムを活用して資材所要量を計算し、購買計画を立てている。				
	② 代替品は検討したか	ヒアリング	1	資材の代替品検討はほとんどおこなわれていない。				
		直近の事例などを確認する	2	VA/VEプロジェ外を発足させているが提議きしない。提案制度も存在するがあまり活発ではない。				
		直近の事例などを確認する	3	顧客からコストダウンの要請があった場合は、その都度 VA/VE による代替品検討をおこなっている。				
		直近の事例などを確認する	4	購買部門と設計部門が協力し、活発にVA/VE活動がおこなわれている。				
		直近の事例などを確認する	5	経営計画とリンクしたVA/VEの新技法研究や情報交換が活発に実施され、効果を上げている。				
	③ 標準化を進めているか	ヒアリング	1	資材の標準化はおこなっていない。購買品は多品種少量商品が多くを占め、コストダウンは進んでいない。				
		標準化された資材を確認する	2	標準化を進めてはいるが、設計部門と購買部内の連携が不十分などの理由で成果は限定的である。				
		標準化された資材を確認する	3	各部門が共通の目的・目標を定めて部品・資材の標準化を進めるなど、一定の成果を得ている。				
		標準化事例を確認する	4	標準化によって多品種少量購買品を削減し、大量購買によるスケールメリットを得ている。				
		標準化事例を確認する	5	GT(グループテクノロジー)手法を活用して類似性に基づいて部品や資材を分類し、標準化を進めている。				
2 購買方法は適切か	④ 購買仕様は明確か	製造責任者にヒアリング	1	購買にあたって仕様書の作成はおこなっていない。				
		製造責任者にヒアリング	2	仕様書は購買部が中心になって作成しているが、技術的な製品要求事項に不足や不明確さがある。				
		製造責任者にヒアリングと現場確認	3	購買仕様書は購買部門だけでなく技術部内の協力を得て製品要求事項を詳細に検討している。				
		製造責任者にヒアリングとマネジメントレビュー記録	4	仕様書には製品品質に関する仕様に加え、荷姿と運送方法、搬入場所、支払条件についても定めている。				
		製造責任者にヒアリングと品質記録	5	購買に関わるトラブルを防ぐため、仕様書には受人検査方法、クレーム処理(補償を含む)について定めている。				
	⑤ 購買方法を検討したか	製造責任者にヒアリング	1	長年の取引がある購買先から随意契約や当用買いすることが多く、相見積りはおこなっていない。				
		製造責任者にヒアリング	2	複数購買先からの合見積りを基本とするが、時間と手間が掛かるため実際は随意契約や当用買いが多い。				
		製造責任者にヒアリング	3	購買にあたっては、少なくとも2社以上の購買先から相見積りを取って比較検討している。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	4	入札(一般競争契約又は指名競争契約)によって品質・コスト・納期を比較し、購買している。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	5	相見積りや入札を原則とするが、原材料については価格契約や長期契約など、より安定的に購買している。				
	⑥ 発注方式は適切か	製造責任者にヒアリング	1	購買担当者は発注方式についての理解が浅く、都度必要な資材を注文(不定期不定量発注)している。				
		製造責任者にヒアリング	2	購買品は在庫が少なくなった時点で一定量を発注している(定量発注)。安全を見越すために在庫は多い。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	3	購買品は1回/月(又は1回/週)のペースで定期発注している。まれに在庫切れが発生することもある。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	4	購買品をABC分析によって分類し、定期発注、定量発注、簡易発注方式などに分けて発注管理している。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	5	情報システムを活用して生産計画から資材所要量を求め、在庫を引当てた上で必要量を定期発注している。				

3購買先を評価しているか	⑦購買先を調査しているか	製造責任者にヒアリング	1	購買先の調査や評価はおこなっていない。				
		製造責任者にヒアリング	2	新規に取引をおこなう場合など、必要に応じて取引先の調査・評価をおこなっている。				
		製造責任者に確認	3	年に1回の頻度で取引状況などの調査、評価をおこなっている。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	4	年に数回程度の頻度で、取引状況などの調査・評価をおこなっている。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ検証	5	年度毎におこなう財務基盤などの評価に加えて、納入実績についての評価は月度でおこなっている。				
	⑧評価項目は適切か	製造責任者にヒアリング	1	購買先の評価項目は特に定めていない。				
		製造責任者にヒアリング	2	現場作業環境の整備(5S)状況、そして従業員の服装・態度・改善意欲などを評価している。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	3	Q(受人不良率など)、C(コスト協力度など)、D(納期遅延率など)に関する実績を評価している。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	4	購買先の財務基盤(収益性、資金繰り、資本の安定性 などを)評価している。				
		製造責任者にヒアリング及びデータ確認	5	CSR(企業の社会的責任)への取組みや、ISO(品質及び環境管理システム)の取得状況を評価している。				
	⑨改善指導をしているか	製造責任者にヒアリング	1	購買先の指導はおこなっていない。				
		製造責任者にヒアリング	2	購買先評価の結果を定期的に文書で通知することによって改善を促している。				
		社長にヒアリング	3	不適合品が発生した場合など、必要に応じて購買先を訪問して改善を指導している。				
		社長にヒアリング及びデータ検証	4	文書での改善指導に加え、必要に応じて購買先を訪問して改善を指導している。				
		社長にヒアリング及びデータ検証	5	購買品の品質影響度や取引金額、品質管理状況を考慮して、計画的に購買先を訪問し、改善指導している。				